FAX NO. 大 阪: 06-6363-0162 東 京:03-3562-2759

ポケット部

名古屋:052-217-2494 北九州:093-531-1152

M

御中

整備品に関するお願いと確認

弊社では、安全かつ法令に基づいた作業を行うため、ご返却いただく整備品に対して以下のお願いと確認を 行っております。 内容についてご理解賜り、ご協力の程お願い申し上げます。

また、弊社にて安全性に問題があると判断した場合は、受け入れ、及び作業をお断りさせていただく場合が

ございますので、ご了承願います。

洗浄のお願い

ご返却いただきますバルブの内部(ポート部 ケット部)に残留流体が無きよう、ご洗浄願し ご洗浄の際は必ずバルブを中開にしてバルフ 洗浄下さい。

出来ましたらバルブを分解していただいた後 浄いただきたくお願い申し上げます。

ご署名

ご協力いただき、ありがとうございます。

部、ポ います。 ブ内をご 後、ご洗	全開ポート部
実施 口その他()
) 口液	ロガス 口粉 ロスラリー
留流体の廃棄処理方法(生・可燃性等の危険性) □有 □無
有の場合 生(る防御方法()))
(法律第三十四号) 5十三条 及び「水質汚濁防止 有されている場合は□にチ	
7 ロロメタン 記化炭素 5 素及びその化合物 5 素及びその化合物 ピピニルモノマー -ジクロロエチレン (-1, 2-ジクロロエチレン 1-トリクロロエタン , 2-トリクロ	□ チウラム □ シマジン □ チオベンカルブ □ ベンゼン □ セレン又はその化合物 □ ダイオキシン類 □ 1,4-ジオキサン □ アンモニウム 化合物、亜硝酸化合物及び 硝酸化合物
」対象品目を <u>含んでいませ</u> 理産業廃棄物」対象品目で	<u>せん</u> 。 を <u>含んでいます</u> 。
月 日	
	【(弊社記入欄)作番

洗浄実施状況(の確認						
	口分解せず洗浄	口未実施	□その他()	
ご使用流体に* ○流体名/性状(○バルブ内への残	留有無 口有	□無) 口液	□ガス	口粉 ロスラリー	_	
	┗有の場	品合 一 残留流体の序 ┗毒性・可燃性	₹棄処理方法(‡等の危険性	□有	□無)	
〇その他流体に対	L危険性		−有の場合───	<u>.</u>))	
上記法令 第三章	加理及 一型理及 で で で で で で で で で で で で で	·一条~第十三条 及	び「水質汚」 で 水質 は いる場合 は いる場合 は いの 化 の かっ の ノ ス チ チ ロ ロ エ ス タ チ ロ ロ ロ エ エ タ ン チ ン ン チ ン ン ・ ロ ロ ロ エ ス タ ン ・ ロ ロ ロ エ ス タ ン ・ ロ ロ ロ ロ エ ス タ ・ ロ ロ ロ エ ス タ ・ ロ ロ ロ エ ス タ ・ ロ ロ ロ エ ス タ ・ ロ ロ ロ エ ス タ ・ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	エ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	[います。 ラム ジン ベンカルブ	ウム	
□ 上記の「特別管理産業廃棄物」対象品目を<u>含んでいません</u>。□ 上記にチェックした「特別管理産業廃棄物」対象品目を<u>含んでいます</u>。							
	ご記入日	年 月	<u> </u>				
	貴社名						